

質問 ; 「テンポラリーランナー (TEMPORARY RUNNER)」について説明してください。

回答 ; このルールは、「試合のスピードアップ」を促す観点から、2015年のルール改正で新設され、2016年のルール改正で_____部分のように改正されました。

【ルール ※ルール4-11項「テンポラリーランナー」

捕手が塁上の走者となっていて二死となったとき、あるいは二死後、捕手が出塁し、走者となったとき、捕手の代わりにテンポラリーランナーを使用することができる。

- (1) テンポラリーランナーと交代させるかどうかは、攻撃側チームの選択である。
- (2) 二死後であれば、いかなる時点でもテンポラリーランナーを使用することができる。
- (3) テンポラリーランナーを使用するときは、塁上の走者以外の選手で、打順が最後に回ってくる者をテンポラリーランナーとする。

【参考】

改正前は、「テンポラリーランナーとなる選手は、捕手の前の打順の者…」となっていました。

- (注) テンポラリーランナーに間違った選手が出た場合には、正しい選手と交代させる。
(それに対するペナルティはない)

【解説】

1. テンポラリーランナーを使用するかどうかは、攻撃側チームの自由で、必ず使用しなければならないというものではありません。
2. テンポラリーランナーの交代は、テンポラリーランナーがケガなどをした場合に限られます。それ以外は認められません。

※テンポラリーランナーの使用は「試合のスピードアップ」を促す観点からのものであり、戦術としての使用ではありません。

また、テンポラリーランナーがケガなどをして、交代を余儀なくされた場合は、「控えの選手」と交代し、「通常の選手交代」扱いとなります。

ケガなどをしたテンポラリーランナーの前の打順の選手、或いは捕手との交代はできません。

例えば、

3番	センター	A選手	控えの選手	E選手
4番	捕手	B選手		
5番	ショート	C選手		
6番	セカンド	D選手		

一死でB選手が一塁にいたとします。5番のC選手は凡打し二死となった。
そこで監督はタイムを要求し「C選手をテンポラリーランナー」と球審に通告した。
これが一般的な例です。
つまり、次打者は6番のD選手で、最後に打撃が回ってくる選手はC選手という
ことになります。
仮に、二死でB選手、C選手も出塁している場合は、A選手となります。

次に、テンポラリーランナーのC選手が盗塁して捻挫をしたとします。ケガですから交代はできますが、控えのE選手と交代することになります。(A選手なりB選手との交代は認められません)この交代は「通常の選手交代」ですから、攻撃終了後、E選手はショートを守備位置に入ることになります。その際、E選手の守備位置を変更させるとか、更に控え選手がいた場合、その選手と交代させる等々は、通常の選手交代と同じです。

なお、退いたC選手はスターティングプレイヤーであったとしても再出場は認められませんので注意してください。

捕手は当然B選手のまま、攻撃終了後、守備につく際、球審への通告は不要です。

仮にケガをしたC選手が出血したとしても、代替選手を出場させることは認められません。出血したままでプレーを継続することは認められませんので、治療するか、もしくは控えの選手と交代することになります。

また、テンポラリーランナーをC選手とすべきところを誤ってA選手とした場合、間違いに気づいた時点でC選手に交代させればよく、ペナルティはありません。